

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 29 日現在

機関番号：27501

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2013～2015

課題番号：25671024

研究課題名(和文) 修士課程における保健師教育の開発と評価 - 日本からの発信

研究課題名(英文) the development and evaluation of public health nurses education in masters course
a report from japan.

研究代表者

村嶋 幸代 (murashima, sachiyo)

大分県立看護科学大学・看護学部・学長

研究者番号：60123204

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,900,000円

研究成果の概要(和文)：大学院修士課程教育で育成する保健師像と能力を明確化することを目的とし、その結果、保健師像の共通要素は「研究」、「国際的視野」、「将来リーダーとなり得る人材」とした。実践能力は「実践的研究能力」、「保健師としての基本姿勢」、「個人・家族レベルの能力」、「地域レベルの能力」、「システムレベルの能力」、「健康危機管理能力」、「「個人・家族」、「地域」、「システム」をつなぐ能力の7つであるとした。明らかにされた保健師像と能力は修士課程での保健師教育を行う上で公衆衛生看護学のカリキュラムの構築につながると考えられる。

研究成果の概要(英文)：The aim of this study is to clarify the image and skill of public health nurses (PHN) those are educated in the Master's courses. The common factors in the image of PHN were Research, Global viewpoint and Leadership in the future. Those skills were consisted with 'practical research skill', 'basic intention as a PHN', 'skill to manage individuals and families', 'skill to manage communities', 'skill at the system level', 'skill of risk management' and 'skill to consider the individuals and the families, communities and the systems'. The clarified image and skill will contribute to the establishment of the public health nursing curriculum in Master's course.

研究分野：公衆衛生看護学

キーワード：保健師 大学院修士課程 保健師教育 カリキュラム 研究能力 国際的視野 リーダーシップ

1. 研究開始当初の背景

現代社会の健康問題の多様化、深刻化、国際化の中で、修士課程における高度実践者養成が求められている。特に、保健師教育に関しては、平成23年度以降、新たに修士課程における教育が開始され、徐々に広がっている。保健師が受持ち集団の健康水準の向上に責任を持つためには、その集団の健康状態を分析・統合して対策を打ち出す能力（研究力と政策形成力）が必要なためである。

修士課程の保健師教育では、志向性のある人に時間をかけて教育することができる分、実習に重点を置き、「（継続的家庭訪問による）対人支援の実践能力の確保」「地域診断と活動展開方法の習得」を図ることができる。更に、「新しい科目の導入（健康公共政策と評価等）」ができ、また、研究法を学び、修士論文を書くことにより研究力を身につけられると期待される。これらは、修了生が実践者となった時に、現状を分析して対策を打ち出す能力につながると考えられる。

しかし、その効果については、未だエビデンスが蓄積されていない。このため、従来実施されてきた学士課程や一年課程における保健師教育との差異（教育内容・効果等）を評価・検証することにより、新しい教育体系を確立していかなければならない。保健師の免許制度は、世界の数カ国に存在しており、国際的に保健師のネットワークを創る動きもある。その中であって、日本では、約70年にわたる保健師の免許制度の実績がある。それに基づき、保健師に求められる能力を新たに発信することにより、世界の保健師教育を牽引できると考えられる。

2. 研究の目的

本研究では、大学院修士課程教育で育成する保健師像とその能力を明確化することを目的とした。

具体的には、以下の2つの研究事業を遂行

した。

(1) 英国と米国の公衆衛生看護学・地域看護学の大学院教育と保健師の能力に関する海外文献の収集・整理

(2) 保健師修士課程における目指す像と求める能力の明確化

3. 研究の方法

(1) 英国と米国の公衆衛生看護学・地域看護学の大学院教育と保健師の能力に関する海外文献の収集・整理

2014年8～10月にかけて、エキスパートへの質問及びインターネット検索を通じて情報を収集した。英国に関しては、岡本玲子教授（岡山大学大学院保健学研究科）、米国に関してはJoan E. Kub 准教授（The Johns Hopkins University School of Nursing）にエキスパートとして、各国の修士課程における保健師教育について質問し、回答を得た。

(2) 保健師修士課程における目指す像と求める能力の明確化

すでに保健師教育を大学院修士課程で行っている大学（北海道大学、東北大学、東京大学、岡山県立大学、大分県立看護科学大学）の教育目標、目指す像、求める能力、カリキュラム等を持ち寄り、課題を整理した。

日本（萌芽研究班）・米国・英国、それぞれが打ち出す公衆衛生看護関係職に求められる能力を比較検討した。

厚生労働省の卒業時到達目標71項目と萌芽研究班の178項目を比較検討した。

4. 研究成果

本研究の成果は以下のとおりである。

(1) 保健師像の共通要素

研究力

国際的視野で物事を見る力

将来リーダーとなり得る力

(2) 日本(萌芽研究班)・米国・英国、それぞれが打ち出す公衆衛生看護に求められる能力の比較

米国、英国の能力と本研究班作成の能力を比較し、「資金調達」「対立関係調整」「サービス提供の契約」「プロジェクト運営」「品質改善」に関する項目を加えるべきかどうかを検討した。その結果、補強すべき点として、「資金調達 事業に必要な経費を調達する」「サービス提供の契約 事業委託」「プロジェクト運営、品質改善 リーダーシップ、サービスの質の管理」「対立関係 利害関係・調整について」があげられた。

(3) 本研究班(178の行動目標)と厚生労働省卒業時到達目標(71項目)の比較

厚生労働省の卒業時到達目標 71 項目と萌芽研究班の 178 項目の比較は、行動レベルには重きをおかずに、トピックとして含まれているかを中心に確認した。厚生労働省の項目にはなく 178 項目のみに記載された項目は、大学院教育における実践能力として特徴的なものとして考えられる。さらに、3 年間の研究成果として追加した項目は「国際的な視野と情報発信」の 4 項目、「具体的な支援技術」の 8 項目、「具体的な活動展開技術」の 1 項目、「健康な生活を実現するための事業化」の 3 項目、「システム遂行におけるリーダーシップをとる」の 3 項目、計 19 項目となった。これらを加えて本研究班が考案した項目は、合計 197 項目である。

以下、大項目、中項目を記載する。

実践的研究能力(社会情勢と地域の健康に応じた公衆衛生看護の研究遂行能力)

- 1) 研究遂行に必要な基礎的素養
- 2) 研究を活用した公衆衛生看護活動の推進
- 3) 地域の健康課題解決に向けた研究の遂行
- 4) 対象地域や各種学会への研究成果の公表
- 5) 公衆衛生看護への研究成果の還元
- 6) 国際的な視野と情報発信

保健師としての基本姿勢(地域の人々の基

本的人権である健康と生活を護る公衆衛生看護専門職としての責務を遂行する能力)

- 1) 社会的公正を具現化する基本姿勢
- 2) 倫理規範・職務規範
- 3) 連携・協働・マネジメント
- 4) 専門的自律・継続学習

個人・家族レベル(個人・家族レベルの健康問題を解決する能力)

- 1) 個人・家族の健康課題を明らかにする能力
- 2) 個人・家族の健康課題を解決する能力
- 3) 具体的な支援技術

地域レベル(地域特性に基づき、集団・地域を対象としたアセスメント・介入・評価を行う能力)

- 1) 地域全体の健康課題のアセスメント
- 2) ソーシャル・キャピタルや社会資源のアセスメント能力
- 3) 支援が必要な住民を見出す能力
- 4) 活動展開全般
- 5) 具体的な活動展開技術
- 6) 評価

システムレベル(地域の健康水準を高めるために地域特性に応じて事業化・施策化・政策化をする能力)

- 1) 社会資源の開発
- 2) 健康な生活を実現するためのシステム化
- 3) 健康な生活を実現するための事業化
- 4) 健康な生活を実現するための施策化
- 5) 保健医療福祉の政策化
- 6) システム遂行でリーダーシップをとる健康危機管理能力

- 1) 健康危機発生に備えた予防
- 2) 健康危機発生時の対応
- 3) 健康危機発生後の回復期の支援
- 4) すべてのステージにおける評価

「個人・家族」「地域」「システム」をつなぐ能力

- 1) 個と地域
- 2) 個から集団、集団から個

3) 個・集団から地域、地域から個・集団

5. 主な発表論文等

[学会発表](計8件)

村嶋幸代, 赤星琴美, 佐伯和子, 平野美千代.
修士課程の保健師教育を先駆的に開始した
大学からの報告-教育カリキュラム-, 日本地
域看護学会第18回学術集会, 平成27年8月2
日/神奈川県横浜市.

赤星琴美, 村嶋幸代, 佐伯和子, 平野美千代.
保健師教育における技術項目と卒業時到達
度調査(第1報)-保看統合大学と保健師選択
制大学の違い-, 日本地域看護学会第18回学
術集会, 平成27年8月2日/神奈川県横浜市.

峰松恵里, 赤星琴美, 佐藤玉枝, 村嶋幸代. O
県中山間部における糖尿病有病率をインデ
ィケータにした地域特性への働きかけ~
修士課程保健師教育における地域マネジメ
ント実習~, 第3回日本公衆衛生看護学会,
平成27年1月10日/兵庫県神戸市.

村嶋幸代, 赤星琴美, 佐伯和子, 平野美千代.
大学院修士課程の保健師教育を開始した大
学からの報告-学生の学び-, 第4回日本公衆衛
生看護学会学術集会, 平成28年1月24日/東
京都千代田区.

峰松恵里, 赤星琴美, 佐藤玉枝, 岡元(佐藤)
愛, 村嶋幸代. 地域職域連携を推進する方法
論の明確化-修士課程保健師教育における広
域看護活動研究実習を通じた学び-, 平成
28年1月24日/東京都千代田区.

Akahoshi K, Murashima S. Investigation
of achievement degree of skill at the time of
graduation in public health nurse
education in Japan. The 6th International
Conference on Community Health Nursing
Research, Seoul, August 18-20, 2015.

Minematsu E, Akahoshi K, Sato T, Sato
A, Murashima S. Strategy to prevent
diabetes through community assessment
in a rural area in Oita. Japan. The 6th

International Conference on Community
Health Nursing Research, Seoul, August
18-20, 2015.

Minematsu E, Akahoshi K, Sato T, Sato
A, Murashima S. Strategy to promote
health management for the employees of
small and medium sized enterprises in a
rural area in Japan. The 6th International
Conference on Community Health Nursing
Research, Seoul, August 18-20, 2015.

6. 研究組織

(1) 研究代表者

村嶋 幸代 (MURASHIMA Sachiyo)
大分県立看護科学大学・看護学部・学長
研究者番号: 60103204

(2) 連携研究者

赤星 琴美 (AKAHOSHI Kotomi)
大分県立看護科学大学・看護学部・講師
研究者番号: 80300490

佐伯 和子 (SAEKI Kazuko)
北海道大学・北海道大学大学院保健科学研
究院・教授
研究者番号: 20264541

平野 美千代 (HIRANO Michiyo)
北海道大学・北海道大学大学院保健科学研
究院・准教授
研究者番号: 50466447

末永 カツ子 (SUENAGA Katuko)
東北大学大学院医学系研究科・教授
研究者番号: 70444015

田口 敦子 (TAGUTHI Atuko)
東北大学大学院医学系研究科・助教
研究者番号: 70359636

高橋 香子 (TAKAHASHI kouko)
東北大学大学院医学系研究科・准教授
研究者番号： 8 0 2 9 5 3 8 6

永田 智子 (NAGATA Satoko)
東京大学大学院医学系研究科・准教授
研究者番号： 8 0 3 2 3 6 1 6

蔭山 正子 (KAGEYAMA Masako)
東京大学大学院医学系研究科・助教
研究者番号： 8 0 6 4 6 4 6 4

二宮 一枝 (NINOMIYA Kazue)
岡山県立大学・教授
研究者番号： 7 0 3 4 7 6 0 7